

ERE information

Vol.24 2013年9月13日発行

発行/特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者/斧崎 幸彦
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号/電話(03)3267-4819/http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第24回経済学検定試験：『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに前回平均点を上回る
- ▶第19回「大学対抗戦」
福岡カレッジ・オブ・ビジネス「F・C・B経済学愛好会 1st」チームが初優勝！
・経済現象を正しく把握するために（優勝チーム 小幡 浩司さん）
・理論を深く理解（準優勝チーム 小林英雄さん）
・教える側に立つことで理解が深まる（個人賞トップ 松本淳二さん）
- ▶第20回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！
- ▶委託会場制度利用のご案内
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第25回ERE実施要領

《第24回経済学検定試験》

『ERE』『EREマイクロ・マクロ』ともに
前回平均点を上回る

2013年7月7日（日）に実施いたしました第24回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびお取りまとめご担当者の皆様への試験の成績に関するご通知・ご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回は、EREとEREマイクロ・マクロの合計応募者数が1,451名でした。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

EREは前回の平均点を37.5点上回りました。マクロ経済学、国際経済が前回を下回ったものの、他の科目は前回を上回っています。

EREマイクロ・マクロも前回の平均点を39.7点上回りました。マイクロ経済学が前回の平均点を大幅に上回ったものの、マクロ経済学は前回は若干下回っています。

《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	154.4点	114.2点	55.4点	39.8点	40.0点	37.9点
(前回)	111.5点	120.5点	48.5点	34.8点	53.9点	35.1点
標準偏差	45.62	43.77	21.12	16.38	18.26	19.53
(前回)	43.73	43.84	19.63	17.39	19.97	17.39

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	135.7点	96.8点
(前回)	94.2点	98.5点
標準偏差	44.53	39.67
(前回)	38.19	36.50

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	95名	1,356名
受験者数	57名	1,086名
平均点	441.8点	232.4点
標準偏差	128.01	75.94
最高得点	740点	480点
最低得点	200点	60点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	青山学院大学	145	21	久留米大学	14
2	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	131	22	明治大学	13
3	日本大学	59	23	広島修道大学	11
4	龍谷大学	55	24	立正大学	10
5	麗澤大学	52	24	九州共立大学	10
6	中央大学	50	26	名古屋学院大学	9
7	東京国際大学	46	27	小樽商科大学	8
8	創価大学	36	28	神戸国際大学	7
9	福島大学	28	29	帝塚山大学	6
10	熊本学園大学	27	30	札幌大学	5
11	弘前大学	23	31	福山大学	4
12	旭川大学	21	31	長岡大学	4
13	宇都宮大学	18	33	新潟産業大学	2
13	大分大学	18	34	関東学園大学	1
15	長崎大学	16			
15	岡山商科大学	16			
17	高崎経済大学	15			
17	長崎県立大学	15			
17	関東学院大学	15			
17	立命館大学	15		個人申込み	546

*団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」＋「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	創価大学	経済学部	松本 淳二	S
2			古川 剛	A+
2			清水 邦敏	A+
4	横浜国立大学	経済学部	千葉 瑛記	A+
5				A+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
6	明治大学	政治経済学部	大 沼 英 明	A
7			竹 内 維斗文	A
8			馬 淵 晃 平	A
9			玉 上 遼	A
10			中 脇 勇太郎	B+
11				B+
11	明治大学	政治経済学部	大 間 智 之	B+
13	前川公認会計士事務所		前 川 克 博	B+
14			人 見 彰 彦	B+
14	滋賀大学	経済学部	望 月 瑛 生	B+
14	立命館大学	経済学部	吉 山 祐 矢	B+
14	財団法人広島市未来都市創造財団	ひと・まちネットワーク部	栗 原 孝 弘	B+
18	宇部興産株式会社	経営管理室財務部	風 間 翔 平	B+
18			小 松 真 歩	B+

《資料5》『EREMICRO・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1			本 田 朋 史	S
2			柴 俊 龍	S
2	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	福 田 謙太郎	S
4	小樽商科大学	商学部	大 津 卓 也	S
4	明治大学	政治経済学部	衣 斐 光	S
4			ト ウ 胡 蝶	S
7	早稲田大学	商学部	廣 瀬 俊	S
7			Guo Jiaming	S
7			劉 汝 志	S
7			中 澤 翔 太	S
7			何 立 亮	S
7			佐々木 伸	S
7	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	小 幡 浩 司	S
14			須 藤 直 宏	S
14			天 谷 旭 斗	S
14	慶應義塾大学大学院	経済学研究科	寺 田 好 秀	S
14			横 川 雄 祐	S
18	埼玉大学	経済学部	遠 山 龍	S
18			高 橋 龍太郎	S
18			笠 原 浩 平	S
18	創価大学	経済学部	小 林 英 雄	S
18			平 尾 忠 嗣	S
18	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	大学編入科	岸 本 天 翔	S

《第19回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

福岡カレッジ・オブ・ビジネス「F・C・B 経済学愛好会 1st」が初優勝！

準優勝は創価大学チーム／個人成績トップは松本淳二さん

第19回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、9校17チーム、計121名で競われました。優勝は、福岡カレッジ・オブ・ビジネスの「F・C・B 経済学愛好会 1st」チームでした。1680点を獲得しての初優勝です。

準優勝チームは、1590点を獲得した「創価大学経済学理論同好会」チームです。

第3位には、1500点を獲得した福島大学の「経済分析同好会」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、470点を獲得した「創価大学経済学理論同好会」チームの松本淳二さんです。

なお、個人賞は380点以上13名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さまには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チームの上位4名までの平均点は306.25点で、前回は38.65点上回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	F・C・B 経済学愛好会 1st	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	1680点	420.0点
準優勝	創価大学経済学理論同好会	創価大学	1590点	397.5点
第3位	経済分析同好会	福島大学	1500点	375.0点

*参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4名までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝（初優勝） 福岡カレッジ・オブ・ビジネス「F・C・B 経済学愛好会 1st」

経済現象を正しく把握するために

今回、大学対抗戦で初優勝することができ、大変うれしく思います。

私達は大学編入を目指して日々勉強に励んでいます。E R E は出題範囲が非常に多岐に渡るため、編入試験の勉強をしつつ E R E の対策を行うことは困難を極めました。

そのような状況にありながらも優勝できたのも、先生方の支えがあったからだと思います。この場を借りて感謝申し上げます。

E R E の受験を通して、私達が2年間経済学を学習してきた成果を示せたとともに、自信にも繋がりました。私達の知識はまだまだ発展途上の段階にあります。経済学の知識は社会人になっても使えるため、これから先、さらに知識を追及し、世の中で起きている経済現象を正しく把握できる人材に成長したいと考えています。

今回、E R E を受験する機会を与えてくれた学校や先生方、また、ともに受験したメンバー全員に感謝し、学問に励みたいと思います。

(F・C・B 経済学愛好会 1st 小幡浩司さん)

☆準優勝 創価大学経済学理論同好会

理論を深く理解

このチームで準優勝できたことを本当に嬉しく思うと同時に、創立者をはじめ今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちに満ち溢れています。

所感として、EREは経済学の知識を整理できる良い試験だと思いました。また、理論を深く理解する過程を通し、経済学的思考を身につけるきっかけにもなりました。2年生である私自身、今までの学部の内容を復習し、新たなステップを踏み出すための土台になったと実感しています。

2・3年生を中心にして参加した今大会でありましたが、これからは一人一人の成長のために、より多くの1・2年生に挑戦してほしいと思います。

最後に、多忙な中でも団結し、「学問探究」の文字を掲げ共に頑張ってくれた仲間、そして暖かい応援をしてくださった皆様に、もう一度心より感謝を申し上げます。

(創価大学経済学理論同好会 小林英雄さん)

☆個人賞トップ

教える側に立つことで理解が深まる

まずはこの度のERE大学対抗戦に際しまして、常日頃よりお世話になっている創立者をはじめ、経済学部事務室の方々、教授の方々、及び経済学理論同好会の皆に心より感謝を申し上げます。

EREに臨むにあたって、前回でミクロ・マクロの基礎をしっかりと学んだので、今回は、過去問を解いて分からなかったところ、間違えたところを中心に、分からないことを一つずつなくしていくという方法で勉強しました。一つ一つの問題に対して、じっくりと時間をかけて考え様々な参考書を通して調べることで、経済学の知識をより深めることができた実感しています。

さらに今回強く感じたことは、教える側に立つことによって逆に自分の理解が深まるということです。準備を怠ればなかなか思うように教えられないこともあり、人に教えることで自然と知識が身に付きました。そういった意味でも、今回の個人賞トップは一人では取れなかったと感じています。今後も、同好会の皆と切磋琢磨しながら学んでいきたいです。

(創価大学経済学理論同好会 松本淳二さん)

第20回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2013年12月1日(日)実施 ●受付期間：2013年9月17日(火)～10月18日(金)〈消印有効〉

●前回まで参加した46校 (50音順)

青山学院大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／大阪商業大学／大阪府立大学／
小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／九州大学／京都大学／熊本壺溪塾学園／
群馬大学／慶應義塾大学／埼玉大学／札幌大学／上智大学／創価大学／高崎経済大学／
中央大学／筑波大学（同大学院）／帝塚山大学／東京大学／東京理科大学／
同志社大学／東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／名古屋市立大学／
名古屋学院大学／名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／兵庫県立大学／
福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／武蔵大学／明治大学／
山形大学／立命館大学／琉球大学／和光大学／早稲田大学

▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に16の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております、少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eミクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続きにより採点し、成績結果を通知します。

●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用FD願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail：info@ere.or.jp

就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する学生のみなさんが増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

■特 徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

■出題科目等

〔ERE〕四答択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

〔EREMикро・マクロ〕四答択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

■活 用 例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

■備 考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国16の試験会場において実施しており、年間約3,000名強の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業の受験者となっています。

《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —

2013年度 第25回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 25 回
試験日	2013年12月1日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2013年9月17日（火）～2013年10月18日（金）〈消印有効〉
受験料	5,250円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 25 回
試験日	2013年12月1日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2013年9月17日（火）～2013年10月18日（金）〈消印有効〉
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,150円（税込）
出題形式	4択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

2013年12月受験用 E R E 経済学検定試験 問題集

- 第21回～第24回の試験問題360問と解答・ポイント解説を掲載
- 出題傾向の把握が可能

日本経済学教育協会 認定 経済法令研究会 編
A 5判 304頁 予価1,995円（税込）